



大島事業所トピック

No. 417

島しょ農林水産総合センター大島事業所発行

令和6年8月6日

〒100-0212 東京都大島町波浮港 18

Tel 04992(4)0381 Fax 04992(4)0383

ホームページ <https://www.ifarc.metro.tokyo.lg.jp>



令和6年8～12月の伊豆諸島周辺海域の海況見通し

黒潮は大蛇行が継続。発生から7年超へ。

令和6年7月に長期漁海況予報会議が開催され、水産研究・教育機構より、令和6年8～12月の海況予報が発表されましたので、お知らせします。

海況の現況と経過

【現況】黒潮は遠州灘沖で大きく離岸し、石廊崎沖を北上して三宅島付近を通過し、房総半島を北東に流去しています（図1）。また九州南東部の都井岬沖も大きく離岸しています。

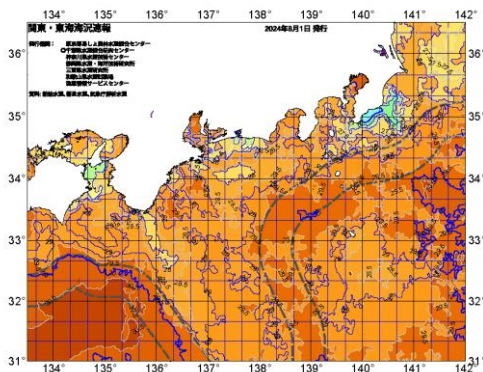


図1 関東・東海海況速報（令和6年8月1日）

【経過】3月下旬に黒潮の蛇行北上部がS字状となりました（図2左）。やがて八丈島の南東部を迂回する流路となりました（図2右）。4月中旬に八丈島の南東部の冷水域を切り離しました。その後は概ね遠州灘沖で大きく離岸し、石廊崎沖を北上して三宅島付近を通過し、房総半島沖を北東に流去する流路となっています（図1）。

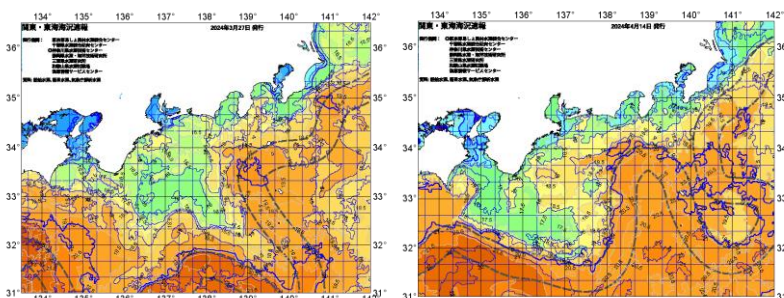


図2 関東・東海海況速報（令和6年3月27日および4月14日）

海況予測（令和6年8月～12月）

平成29年から続いている大蛇行は、今回も収束の兆候を確認することができませんでした。引き続き、令和6年8～12月は蛇行が継続し、A型流路で推移すると予測されました（図3）。蛇行北上部は概ね伊豆諸島海域の西側に位置します。九州南東部の小蛇行の発達に伴い、一時的に蛇行北上部の流路が変動することが予測されます。

伊豆諸島北部海域の海況見通し

伊豆諸島北部海域の沿岸水温は、黒潮が概ね伊豆諸島の西側を北上することから、暖水に覆われ、高め傾向となることが推測されます。そうしたことから概ね「やや高め」～「きわめて高め」※と予想しています。

※「平年並」＝平年値±0.5℃程度、「やや高め」＝平年値+0.5～1.5℃、「きわめて

高め」＝平年値+2.5℃以上

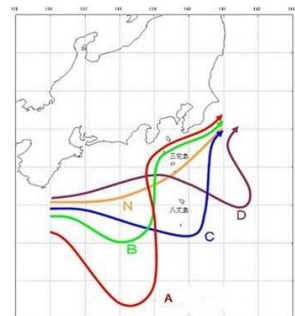


図3 黒潮流路の代表的なパターン

A型：32°N以南まで蛇行（海上保安庁HPより）

島しょ農林水産総合センターでは、日々の海況図をホームページ(<https://www.ifarc.metro.tokyo.lg.jp/weather/index.html>)で公開しております。ぜひご利用下さい。